

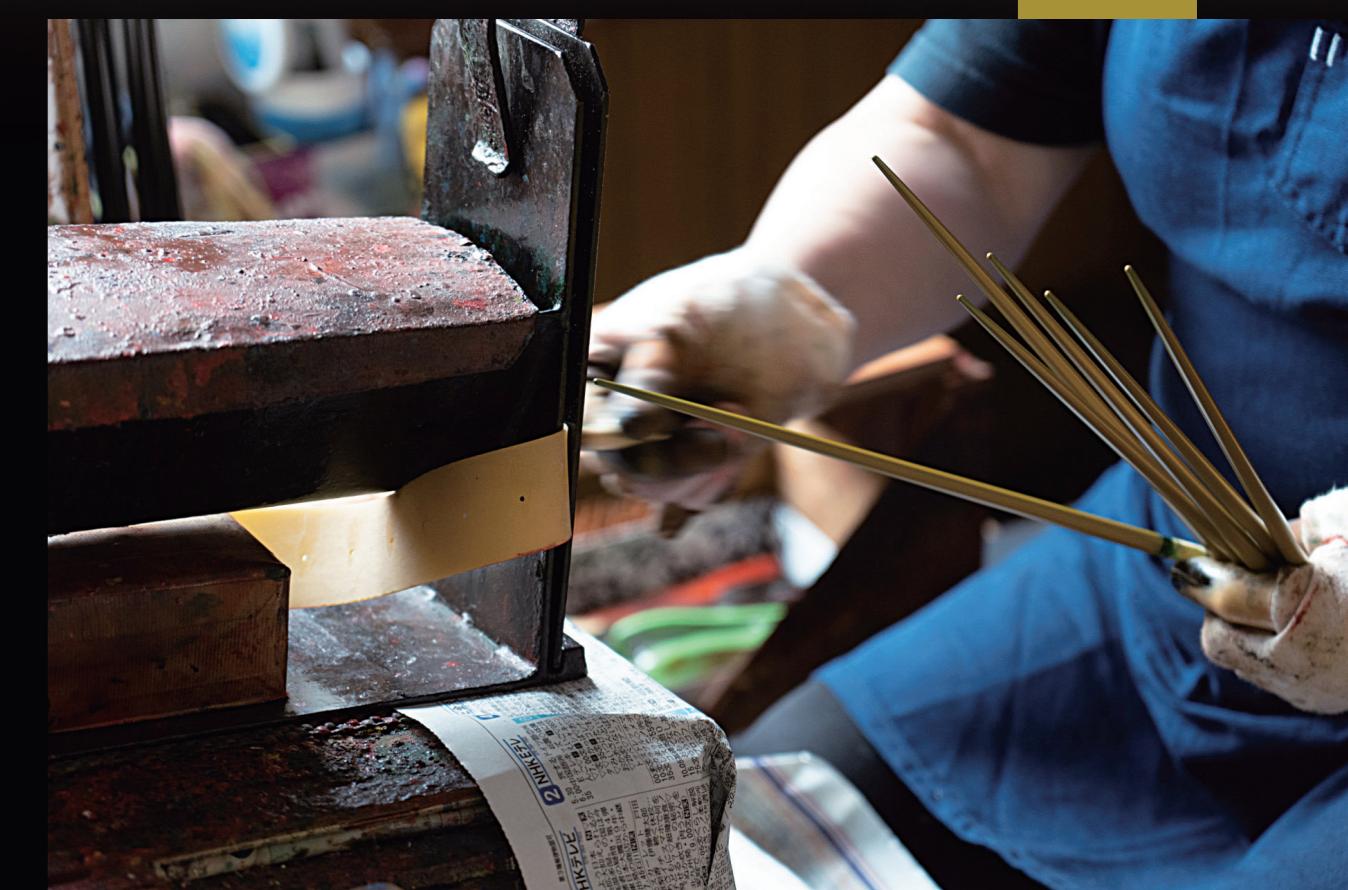
## 伝統技術・漆塗の伝承

## 能登半島地震復興支援

# 丸 亀 箸



箸に金粉をつける工程



黄色の漆が塗ってある上から、緑の漆を塗り重ねているところ

丸亀製麺  
特製箸



今回ご協力  
いただいた工房



岩多箸店は、石川県輪島市で塗箸の製造・販売をしている製造メーカーです。輪島塗の伝統的な技術を用い、工程のほとんどを手作業で行っています。こうしてできた塗箸は、軽さと丈夫さがあり、誰でも使いやすく、輪島塗の加飾技法で施された美しさも兼ね備えています。

丸亀製麺に関わりのある  
香川県丸亀市にちなんだ  
モチーフを施した  
ここだけで買える  
特別な塗箸です。



モチーフについて



青海波 (せいがいは)  
香川県が面している瀬戸内海をイメージした波模様。扇状の形にあやかった「末広がりの幸運」や「続く幸せ」を願う縁起の良い柄です。



团扇 (うちわ)  
丸亀市の伝統工芸品である丸亀うちわの模様。輪島塗の技術で施される丸亀うちわモチーフは、ここだけの特別な伝統工芸のコラボレーションとなっています。

### 箸に込めた想い

漆塗とは、ウルシノキから採取される樹液（漆）を材料に、器物や建物の表面に塗布して仕上げる日本の伝統技術、およびその工芸品のことです。

その中でも、輪島塗（わじまぬり）は、石川県輪島市で作られる漆器で、天然木の本地に、天然漆と微生物の化石である珪藻土を細かく碎いた「地の粉」を混ぜた下地を幾重にも塗り重ね、他の漆器にはない高い堅牢性を持っています。

今回の箸は、軽く丈夫な「米ビバ」を木地に、輪島塗の技術を用いて、職人が一つ一つ手作業で作った丈夫で美しい塗箸となっています。

また、漆の上に金銀粉を撒く「蒔絵（まきえ）」や、漆面に彫刻を施し、金箔を埋め込む「沈金（ちんきん）」といった、繊細で華やかな加飾技法も特長で、丈夫さと華麗さを生み出す技術は、全国の漆器で初めて国の重要無形文化財に指定されました。

今回の箸は、軽く丈夫な「米ビバ」を木地に、輪島塗の技術を用いて、職人が一つ一つ手作業で作った丈夫で美しい塗箸となっています。

### 漆塗・輪島塗について